

本部開設一周年を振り返って

1年間の取り組み

都産技研は臨海副都心に本部を開設して、今年10月で一周年を迎えます。

昨年は3月に東日本大震災が発生し、自然災害に加え、放射能、電力さらには超円高とわが国の産業は大きな打撃を受けました。そうした中で、都産技研はお客様のニーズを捉えた事業運営をし、事業化を見据えた技術支援や産業育成に直結する研究開発を中小企業の皆さまとともに取り組んできました。

多くの中小企業の皆さまが活用した三事業の実績

昨年10月本部を開設して以来、すでに多くの中小企業の皆さまに利用いただいています。主要事業である技術相談・依頼試験・機器利用の実績をご案内します。

1.技術相談106,770件(前年比17%増)

昨年度は震災による電力不足など、中小企業の技術課題解決のため技術相談は、旧西が丘本部から本部への移転がありました。業務停止をせず本部開設当日から対応しました。特に総合支援窓口機能を充実させ、お客様の利便性向上をはかりました。

また、電力不足問題に対応するため、都内および被災地(岩手県、宮城県、福島県)の工場に出向き、電力状況を「見える化」する無料の出張サービスを実施しました。(詳細は4ページをご覧ください)

2.依頼試験106,195件(前年比7%増)

本部開設の機器導入により、新たに120件以上の依頼試験項目を設置し、利用ニーズに対応した依頼試験を拡充しました。

また、東京ならではの依頼試験として、5つの「都産技研ブランド試験」を立ち上げました。

都産技研ブランド試験

- ①音響試験
- ②照明試験
- ③高電圧試験
- ④非破壊透視試験
- ⑤ガラス試験

3.機器利用74,150件(前年比16%増)

機器利用の新たな取り組みとして、「機器利用ライセンス制度」を導入し、高度な先端機器の利用促進に取り組みました。また、都産技研ホームページに実証試験セクター30機種の機器予約状況の提供サービスを開始しました。



都内中小企業への技術支援をさらに強化しています

平成23年4月から第2期中期計画(5年間)の取り組みを開始いたしました。この第2期においては、従来以上に都内中小企業の技術支援を強化すべく、6つの方針に基づき活動しています。23年度の実績の一端をご報告します。

1 ものづくり産業の総合的支援の推進

■3セクターの新たな立ち上げ

本部での技術支援を強化するため、3つのセクターを立ち上げ、多くのご利用をいただきました。

- ①高度分析開発セクター
- ②システムデザインセクター
- ③実証試験セクター

■オーダーメイド製品開発を強化

製品開発に直結するオーダーメイド開発支援事業を強化し、高度化・多様化する製品化・事業化に役立ちました。

■製品開発支援ラボの機能充実

本部の製品開発支援ラボ18室新設や(多摩テクノプラザと合わせ計23室を提供)、試作加工室の提供、ラボマネージャー配置など、機能拡充を図りました。

contents

本部開設一周年を振り返って 2

- 1年間の取り組み
- 省エネ巡回
- 共同研究

総合支援窓口利用について 6

中小企業の国際競争力強化を支援 8

都産技研見学ツアー 10

インフォメーション 11

トピックス 12

表紙の写真 No.1 都産技研本部

東京都の産業支援拠点再整備事業の一環として、臨海副都心に昨年10月開設した本部。ここでは、3つの技術支援セクターと7分野のブランド試験設備を完備しています。さらには、24時間利用可能な製品開発支援ラボも設置しました。



2 イノベーションの創出、新事業創出型研究の推進

■中小企業等との共同研究の推進

共同研究の実施により、平成23年度製品化・事業化へ数多く展開しました。
(製品化事例は5ページをご覧ください)

■地域結集型研究開発プログラムの推進

平成18年度から開始した開発プログラムのフェーズⅡの最終年度として、実施しました。5年間で多くの特許出願や実用化・商品化の実績を上げられました。研究成果の活用を推進します。



高度分析開発セクター X線回折装置



システムデザインセクター 創作実験ギャラリー

3 都内中小企業の国際競争力強化

■中小企業の海外展開支援

海外展開を目指す中小企業の支援を強化するため、平成24年10月に1都4県(東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、長野県)の公設試験研究機関と連携し、「広域首都圏輸出製品技術支援センター」を開設します。ご活用ください。
(詳細は8ページをご覧ください)

4 サービス産業等への技術支援サービス推進

■サービス産業等への都産技研利用促進への取り組み

業務提携している金融機関や経営支援機関と協力し、幅広い業種への都産技研紹介を実施しました。

また、サービス業や卸売業・小売業の従事者向けのセミナーを実施しました。

5 ものづくりに携わる産業人材の育成

■本部機器を活用した技術セミナー、講習会の実施

中小企業の人材育成、技術力向上、震災復興を目的として、技術セミナーおよび講習会等を合計110件開催しました。

また、本部機器を整備した機器を活用した新規の講習会を積極的に実施しました。

6 震災復興技術支援の推進

■都産技研の震災復興支援

都産技研では、様々な震災復興活動を実施しました。

①利用料金の減額

震災により影響を受けた中小企業支援を24年度も継続実施中です。

②情報提供

震災復興に関する技術情報を提供するため、「震災復興技術支援フォーラム」を5回開催しました。

③放射線測定支援

工業製品の風評被害防止のため、無料で放射線測定の実施や、東京都からの依頼による農水畜産物や浄水場水の放射能測定などを実施しました。

その他の実績

■情報発信・情報提供

本部開設から6カ月間で、約5千人を超える多くの方々に見学していただきました。

また、東京ビックサイトでの大規模展示会に合わせた無料見学バスツアーは好評でした。今年度も「産業交流展2012」等で実施予定です。

■中小企業支援機関との連携

区市町村や金融機関との連携を強化し、都産技研の利用拡大へ積極的に取り組みました。

※23年度連携協定締結機関(計6機関)
江東区、品川区、(財)まちみらい千代田、朝日信用金庫など



実証試験セクター 恒温恒湿槽群



製品開発支援ラボ